

平成25年度  
第62回  
事業計画書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)



〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町67番地

## 平成25年度（第62回）事業計画

### 第1．総括

#### 概要

一般財団法人に移行して初年度の事業運営でしたが、重点課題とした姫路事務所の運営については、順調に当地区の大手事業場の健診を実施することができ、出張健診事業の効率化という所期の目的を達成することができました。

平成24年度の実績見込みは、収入面では、予防健診収入において、出張健診での生活習慣病健診ならびに家族健診、神戸健診クリニックを中心として人間ドックなどの施設健診収入が、ほぼ予算どおりの収入を確保することができる見込みです。

一方、支出面では、給与手当が予算を下回るなど全体では予算額を若干下回る結果、予算を上回る利益を確保できる見込みです。

このような情勢の中、平成25年度予算を策定いたしました。収入面においては、出張健診の収入増が見込めるほか、家族健診や施設健診などの予防健診事業の伸びも見込めることから、平成24年度実績予想に比べて収入増(102.3%)の予算を策定いたしました。また、支出面においては、平成24年度と同様に、委託費をはじめとする経費の抑制を積極的に推進していく所存です。その結果、当期収益は約2.2億円を予定しました。

以下、事業別の概要を示します。

#### ． 医療事業

予約が取りづらかった胃部内視鏡検査を1診増設し、平日4診体制に拡充し、顧客からの要望に応える体制を整える予定です。同時に、当内視鏡検査写真を診察室での診察時に診ることができる体制を整える予定です。この措置によって精度が高く、かつ快適な受診環境を提供することができるものと考えます。

## ・ 予防健診事業

### 1. 総合健診センター

人間ドックをはじめとする施設健診の自動化システム(Me-dasと命名)を独自で開発し、運用することにしていきます。このシステムによって、計測値の一覧画面表示による保健指導や健診項目の進捗管理が容易となり受診者サービスがさらに進むものと考えています。

一方、上記の胃管内視鏡検査の拡充により、人間ドックにおいても当検査が受診しやすい環境を整えることにしていきます。

### 2. 宇治支所

(1) 他機関との差別化をさらに推進するために、出張健診のすべての部門において業務の質を高め、顧客に最高のサービスを提供することを最重点課題として取り組むことにいたします。

(2) 平成24年度において、退職者の総合的な健康管理をサポートするサルターテ「退職者健康管理友の会」を立ち上げ、年明けからサービスを実施しました。平成25年度は、会員2,000名を目標に積極的な事業展開を図ることにいたします。

(3) 姫路事務所の立ち上げに伴い、さらなる事業の拡大ならびに効率化を推進するため姫路地区での渉外を強化し、当地区での事業拡大を重点課題として取り組みます。

### 3. 神戸健診クリニック

本部総合健診センターと同様に健診の自動化システムを立ち上げ、健診現場の効率化と受診者サービスの質の向上を図っていきます。また、健診現場の効率化については、放射線技師が乳房超音波検査を実施できるようにするなど、医療職の多能工化を推進し、待ち時間の少ないスムーズな健診を実施できるような体制を整える予定です。

## ・ 検査指導事業

### 1．環境保健

平成25年1月からインジウム化合物、コバルトなどが特定化学物質に制定され健康診断の実施が義務付けられたことから、ホームページをはじめとした広報活動を積極的に展開し、これら有害物の生体試料分析の増加を重点として取り組むことといたします。また、いままで以上に産業医、健診の営業部門との連携を強くし、健康診断と環境測定の両方を実施し、労働者の総合的な健康管理を推進していくことに注力いたします。

### 2．管理指導

平成25年度に予定されていたメンタルヘルス対策の法制化は見送られました。平成26年度に向けて再度法制化の動きがあり、これまで推進してきた健診の実施並びに結果報告方法などを完成させ事業場へのサポート体制を確立する所存です。

一方、産業医活動は、業務量の増大に対応した人員確保が出来ずに、会員事業場からの要望に応えられないケースが多くなっています。引き続き人材の確保に注力する所存です。